

BE A VOICE

19年ぶり、9枚目、最新アルバム『9999』に刻まれた奇跡の軌跡。

THE YELLOW MONKEY



LIVE

THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2019
GRATEFUL SPOONFUL

7/13 sat・14 sun
マリンメッセ福岡

04

No.479 April 2019
The music magazine
that charms you.

INTERVIEW

大橋トリオ

レコードのように大切に聴いてほしいアルバム。

ORIGINAL LOVE

新作『bless You!』に帰結するオリジナル・ラブ・サウンド。
30年を経て到達したソウル・ミュージックの理想。

奥華子

誰かの励ましに
なるような歌になれたら。

Attractions
戸渡陽太



フェアリーズ

“海外で勝負している世界に通用する実力派グループ”がコンセプト。スキルの高さからアーティストや、同世代、女性ファンが多いことで一目置かれている。夏の始まりはフェアリーズとともに。
>7/15(月・祝) DRUM LOGOS



藤木直人

ドラマで見ないクールがほほえないくらい俳優が多いが音楽も精力的に活動中。今年はCDデビュー20周年の全国ツアーを開催。漫画から抜け出したような甘いルックスを間近で拝みたい!!
>7/15(月・祝) 福岡国際会議場メインホール

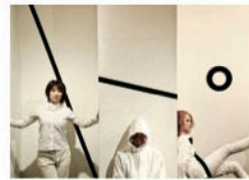
◀◀◀◀◀ ナンバーガール

メジャー活動わずか3年で解散。衝動をそのままに真のオルタナティブロックを貫いたプレイスタイルは日本のロック界に大きな戦慄と爪痕を残した。二度と見れないノンドNo.1とも称された伝説のバンドが17年振りに再結成!ライブを1度も見なかったファンはもちろんミュージシャンや業界を含め、真の音楽好きが待ちに待った瞬間が本当に来るとは!時を経たナンバーガールが現在のロックシーンに何をもたらすのか?!
>9/8(日) DRUM LOGOS



天晴れ!原宿

“原宿”のように“天晴れ!”なKAWAIIカルチャーを創造し、世界へ発信するために結成された7人組。王道アイドルがやらない振り&頭を振って全力で踊るスタイルで会場一体感もあつぱれ!
>6/1(土) LIVE HOUSE CB



BUFFALO DAUGHTER

90年代初期より海外で活動してきたまさに先駆的な3人組バンド。名盤『Pshychic』『Euphorica』の初アナログ化と、結成25+1年を祝福し、2タイトルを全曲再現するツアーが決定。
>6/29(土) 小倉FUSE



鈴木愛理

元℃-uteメンバー。解散後18年にソロデビューし、同年武道館公演を成功させた実力派。音楽活動以外にもコレ、TGCへの出演などモデルとしても活躍中。ツアー衣装がますます気になる!
>7/19(金) 福岡市民会館



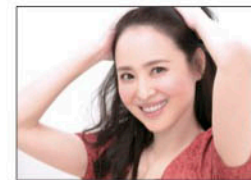
SCOOBIE DO

ROCKとFUNKの最高沸点“Funk-a-lismo!”を貫くサムライ4人衆。今回のライブはアコースティック!いつもの楽曲がどんな感じにアレンジされているのか、ワクワクするよね。
>6/4(火) to-PLUS [大分]



fox capture plan × ゴッドラックヘイワ

“現代版ジャズロック”をコンセプトとするピアノ・トリオ、fox capture planのツアーライブツアーが全国7都市で開催。福岡公演はインストデュオのゴッドラックヘイワ。1公演で2度楽しめる!
>6/30(日) the voodoo lounge



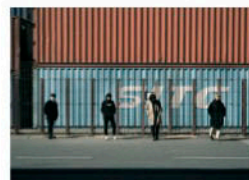
松田聖子

3月に行われたライブ“SEIKO JAZZ 2” in 久留米は発売と同時に瞬殺完売!圧倒的人気と健在ぶりを見せてくれた松田聖子の8月はマリンメッセ福岡。少しでも多くの方に歌声が届きますように。
>8/3(土) マリンメッセ福岡



sukekiyo

DIR EN GREYのソロプロジェクト。3枚組の最新音源映像集『INFINITUM』が5/24に発売決定。会場限定盤として発表された楽曲の再録を含む新曲13曲に加え、コラボ曲やMVを収録。この世界観をツアーで体感せよ。
>6/7(金) スカラエスバシオ



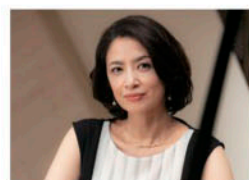
PAELLAS

様々な年代やジャンルの要素を独自のセンスで解釈し、都市の日常、心象風景にフィットするサウンドを生み出す大発展4人組。6/5発売のニュー・アルバム『sequential souls』を引っさげレコツアーがスタート。
>7/12(金) INSA



古内東子

昨年デビュー25周年。4/13に25thコンサート音源をアナログ盤で発売。成熟した大人のラブソングに浸りたい人へオススメ。
>6/16(日) Gate's7 [2回公演]
>6/18(火) Restaurant Bar CIB [熊本]



西村由紀江

作曲家&ピアニスト。TV・ラジオ出演やエッセイ執筆も行う。過去39枚のアルバムから人気曲のリアレンジと新曲を織り交ぜたベスト盤を4/24にリリース。上質なピアノと上質なトークはぜひ生で。
>7/13(土) 大名MKホール



DATS

洋楽かと思わせるモダンでグローバルなサウンド。フレキシブルに変化する演奏スタイルと圧倒的パフォーマンスが各方面より高く評価されるDATS。新体制後初のEPを5/22にリリース&ワンマンツアー開催。
>6/22(土) the voodoo lounge



SPECIAL OTHERS

ジャム、インスト、ポストロックと評されるスペアザ。7月に全国のジャズ・クラブを回る“JAZZ箱ツアー”を開催。Gate's7は昼・夜の2ステージ。ライブハウスとは一味違ったステージに注目したい。
>7/15(月・祝) Gate's7 [2回公演]



WEAVER

3ピース・ピアノロックバンド。3/6にニュー・アルバム、連動した同名小説を発売。この一連の新作に伴うライブハウスツアーが開幕だ。
>9/14(土) DRUM Be-1
>9/15(日) 熊本B.9 V2



THE GREAT SATSUMANIAN FESTIVAL 2019

九州本土最南端フェスティバル、第2回目の開催が決定!ジャンルを超えた総勢50組以上のアーティストが桜島から素晴らしい音楽を世界へ発信。美味しいハス飯も目白押し。今年からはキャンプも可能に。
>10/5(土)、6(日) 桜島多目的広場&溶岩グラウンド [鹿児島]



南こうせつ

今年デビュー50周年。70歳を迎え、今までミュージシャンとして生きてきた思いのすべてを詰め込んだ15年ぶりの書き下ろし書籍『いつも歌があった』。同世代へのエールとなる一冊。
>書き下ろしエッセイ『いつも歌があった』、全国の書店にて発売中!



moumoon
live tour 2019-NEWMOON-
6月29日(土) FUKUOKA BEAT STATION



NEIGHBORS COMPLAIN
5月10日(金) 長崎県美術館エントランスロビー
5月11日(土) 熊本 Restaurant Bar CIB
5月12日(日) 大分 BRICK BLOCK



TrySail (麻倉もも、雨宮天、夏川椎菜)
LAWSON presents
TrySail Live Tour 2019 "The TrySail Odyssey"
5月6日(月・休) 福岡サンパレスホテル&ホール



柴田聡子
TOUR 2019 "GANBARE! MELODY"
柴田聡子&FIRE
柴田聡子 (Vo. G.) / 前田拓郎 (G.) / かわいしのぶ (B.) / イトケン (Dr.) / ラミ子 (Cho.) / Dub Master X (F.O.H.)
5月11日(土) 福岡 UTERO



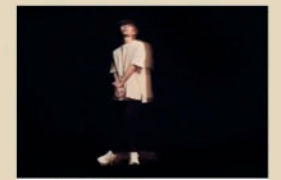
GRAPEVINE
tour 2019
5月11日(土) 熊本 B.9 V1
5月12日(日) 鹿児島 CAPARVOホール
6月8日(土) 福岡 DRUM LOGOS

i☆Ris
4月21日(日) Zepp Fukuoka [2期公演]



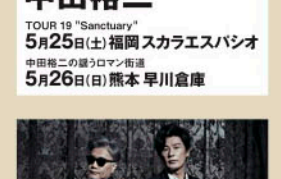
tacica / THE NOVEMBERS
People In The Box

TOMOE 2019
5月31日(金) FUKUOKA BEAT STATION



Yogee New Waves

6月14日(金) 福岡 DRUM LOGOS
6月15日(土) 鹿児島 SRホール
6月16日(日) 長崎 DRUM Be-7



中田裕二

TOUR 19 "Sanctuary"
5月25日(土) 福岡 スカラエスバシオ
中田裕二の謎のロマン街道
5月26日(日) 熊本 早川倉庫



スガ シカオ

SUGA SHIKAO HALL TOUR 2019
~言葉がなくても 僕らは生きていたい~
5月12日(日) 福岡市民会館



Scoop On Somebody

[coming 2 you 2019]
5月3日(金・祝) 北九州 BRICK HALL
5月11日(土) 福岡 イムズホール
5月12日(日) 熊本 へいあのPLUS'



lynch.

5月18日(土) 福岡 DRUM LOGOS



ベッド・イン

5月26日(日) 福岡 DRUM SON



NONA REEVES

THE FUTURE 2019
5月25日(土) 長崎 NBCビデオホール
5月26日(日) 福岡 レノラホール
5月25日(土) 福岡 DRUM SON

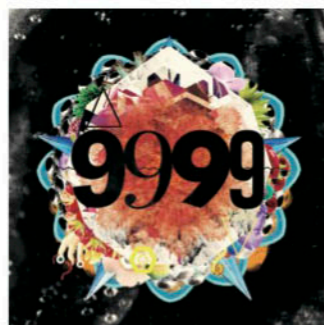
Original Album Discography~Road to『9999』~

 1st THE NIGHT SNAILS AND PLASTIC BOOGIE 1992.6.21	 2nd EXPERIENCE MOVIE 1993.3.1	 3rd jaguar hard pain 1944-1994 1994.3.31	 4th smile 1995.2.1
 5th FOUR SEASONS 1995.11.1	 6th SICKS 1997.1.22	 7th PUNCH DRUNKARD 1998.3.4	 8th 8 2000.7.26

9th Album

『9999』 4.17 ON SALE
ワーナーミュージック
初回生産限定盤 CD+DVD / ¥4,860 (tax in)
通常盤 CD / ¥3,240 (tax in)
アナログ盤 2LP / ¥5,400 (tax in)

- Track List
- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1.この恋のかけら | 8.砂の塔 |
| 2.天道虫 | 9.Balloon Balloon |
| 3.Love Homme | 10.Horizon |
| 4.Stars (9999 Version) | 11.Titta Titta |
| 5.Breaking The Hide | 12.ALRIGHT |
| 6.ロザーナ | 13.I don't know |
| 7.Changes Far Away | |



ダウンロード・アルバム特典「毛皮のコートのブルース」
インディーズ時代の未レコーディング音源を初録音。ボーナストラックとして収録。

- DVD収録内容
- | | |
|---|--|
| 1. SELECTION of THE YELLOW MONKEY
再集結以降に行われたライブから、選りすぐりのライブ映像10曲を収録。 | 2. STORY of THE YELLOW MONKEY (another STORY)
YouTube番組「STORY of THE YELLOW MONKEY」の未公開映像を含むアルバム制作期間中のドキュメンタリー映像。 |
|---|--|

CD先着購入特典「SELECTION of THE YELLOW MONKEY [primal]」数量限定DVD
対象店舗にて初回生産限定盤、もしくは通常盤を購入すると、先着で、16年ぶりのアリーナツアーの幕開けとなった'16年5月11日国立代々木競技場第一体育館にて演奏された『プライマル』のライブ映像をオリジナル編集にて収録したDVDをプレゼント。詳細は公式サイト参照。

LIVE
THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2019
GRATEFUL SPOONFUL

7/13 ± ◆
7/14 目 ♥

マリンメッセ福岡 ※詳しくはBEA-NETをご覧ください。



THE YELLOW MONKEY<Q(9)&A>

あなたにとって「9」の印象は？

- LOVIN** 「9999は“メンバー4人の苦(く)労と一緒に越える”という意味も込められています。9という数字はとても不思議な数字です。“9+9+9+9=36で3+6=9”、“3×6=18、1+8=9”というように、9は掛けても足しても9に辿り着きます。煩惱の数、108にも同じことが言えます。四苦八苦とは煩惱にまつわる言葉。“4×9=36、3+6=9、8×9=72、7+2=9”。九九も最後は81で8+1=9。9は9から逃れられない。あ、そういえば未だに九九をマスターしていません(笑)」
- EMMA** 「中学まで野球部だったのですが、ギターを始めてからは突指をしたくなかったで…それとなくレギュラーナイン(9)にならないようにしていたかもです(笑)」
- HEESEY** 「うちのメンバーの誕生日はアニーが6/6、エマが12/7、ロビンが10/8ということで、その並びでいくとボクは4/19で「9」がつくのです。なので何となく子供の頃からラッキーナンバー的に思っていました。ちなみにボクは春生まれ、アニーは夏生まれ、ロビンは秋生まれ、エマは冬生まれです。なんとも調和のとれたイエローモンキーのメンバーですね!」
- ANNIE** 「数学が大好きだった私にとって「9」というのは特別な数字です。もちろん位が上がる前の一番大きな数字ですが、他に面白い特徴をたくさん持っています。例えば、ある整数を9で割ると割り切れない場合は小数点以下に永遠に同じ数が延々と続きます。無限にです。「終わりが無い」とか「無限」とか「ループ」とかいうものをとても感じさせてくれる数字なのです」

4月からスタートするツアーに向け「九州」の皆さんへメッセージを!

- LOVIN** 「あ!九州! 今気がつきました(笑)! ツアーで全県行かないとね。9999にあなたの心のスプーン一杯を注いでもらって、最高のライブにしたいと思います」
- EMMA** 「1年以上振りの九州でのライブとなる上、今回は9枚目のニューアルバムを引っさげて訪れることができるため、とてもワクワクしています。本当の意味での新たなTHE YELLOW MONKEYがここから始まると思うので、是非その時間を共有しに来てください」
- HEESEY** 「90年代、デビュー当時からバンドと相性バツグンの九州のみなさま、あの伝説の『メカラウロコ』の九州スペシャル@ヤフオク!ドーム以来のライブとなりますね。個人的にも大好きな九州でライブが出来るのが物凄く嬉しいです。マリンメッセとグランメッセでお会いすることを楽しみにしています。待つとるけんね!」
- ANNIE** 「今回はNEWアルバムを引っさげてのツアーですが、トランプのマーク毎にメニューも大幅に変わりますので、旧曲(9曲ではないです、笑)も沢山楽しんでいただけたらと思います。因みに4公演コンプリートすると全てのメニューが網羅できます」

THE YELLOW MONKEY 9thアルバム『9999』発売記念前夜祭
映画『オトトキ』一夜限りの復活上映
4/16(火) 19:00上映 ユナイテッド・シネマ熊本
一般発売:4/7(日) 10:00 料金: ¥1,800 (tax in)

EMMAの作詞・作曲による主題歌「Horizon」。実はEMMAがTHE YELLOW MONKEYで作詞を担当するのは、これが初。加えて、サビのメロディを4人全員でコーラスしたのも初だったとこのことで、新たなTHE YELLOW MONKEYの幕開けを感じさせてくれた。

THE YELLOW MONKEY

19年ぶり、9枚目、最新アルバム『9999』に刻まれた奇跡の軌跡。

Text: なかしまさおき Live Photo: キセキミチコ



THE YELLOW MONKEY [サ・イ・エロー・モンキー] 吉井和哉: KAZUYA YOSHII (Vo, Gt), 菊地英昭: HIDEAKI KIKUCHI (EMMA) (Gt), 廣瀬洋一: YOICHI HIROSE (HEESEY) (Ba), 菊地英二: EIJI KIKUCHI (ANNIE) (Dr), '89年12月28日渋谷・La.mamaにて現メンバーで初めてのライブを実施。グラムロックをルーツに持つ独自のスタイルで人気を博し、'92年5月にメジャー・デビュー。以降、ライブ動員、CDセールスともに90年代の邦楽シーンを代表するロックバンドとなるも、'01年1月8日の東京ドーム公演を最後に活動を休止。'04年に解散を発表した。しかし、12年の時を経て'16年1月8日に、突如として再集結を発表。全国アリーナツアーで22万人を動員するなど大きな話題を呼び、同年末にはNHK紅白歌合戦にも初出場。以後、精力的に新曲を発表する一方で、'17年には東京ドーム、および福岡・ヤフオク!ドーム公演を実施。昨年10月1日にはATLANTIC/Warner Music Japanとタッグを組むことを世界5大都市で同時発表するなど、その勢いは未だとどまることを知らない“ROCK STAR”。 <http://theyellowmonkey.jp/>

過去8作も含めアルバムを持つ視覚的インパクトが極めて強いTHE YELLOW MONKEY。異なるフォントで描かれた4つの「9」が異彩を放つ本作は、ドイツ在住のアート・ディレクター・グループ「Rocket & Wine」が担当。バックは黒だが、これまでのジャケット写真と比べても、ここまで多様な色が使われているのは他になく、躍動感あふれるコラージュ&グラフィックで、4人の、これまで、と、これから、を見事に描ききっている。なお、特設サイトではさらに、動

いてほしい。過去8作も含めアルバムを持つ視覚的インパクトが極めて強いTHE YELLOW MONKEY。異なるフォントで描かれた4つの「9」が異彩を放つ本作は、ドイツ在住のアート・ディレクター・グループ「Rocket & Wine」が担当。バックは黒だが、これまでのジャケット写真と比べても、ここまで多様な色が使われているのは他になく、躍動感あふれるコラージュ&グラフィックで、4人の、これまで、と、これから、を見事に描ききっている。なお、特設サイトではさらに、動

前作「8」(ハチ)以来、19年振り。オリジナル盤としては9枚目となる最新アルバム「9999」(フオーナイン)を4月17日にリリースする「THE YELLOW MONKEY」。アルバムには、16年の再集結以降に発表されたナンバー「ALRIGHT」「ロザーナ」「砂の塔」「Stars」「Horizon」「天道虫」をはじめ、今年1月から3月に放送されたテレビ朝日系列木曜ミステリー「刑事ゼロ」の主題歌「don't know」など新曲含む全13曲が収録されており、いわば、再集結から現在までの3年間の軌跡を刻んだ作品となっている。ひと足先に公開されたアルバム特設サイトにはジャケット写真や収録曲名、リリース形態などに異なる特典内容などが(例えば、初回生産限定盤には再集結以降の選りすぐりライブ映像10曲を収めたDVDが付属。17年のヤフオク!ドーム公演からは「追憶のメイド」が!!)記されているが、現時点では、まだまだ開示されている情報も少なく、その多くが謎に包まれている。そこで本稿では既に公開されている映像やサウンド、メンバー自身のコメントなどからアルバム「9999」の世界にアクセス。その先にあるツアーも含めて、さまざまな角度から謎を探り、皆さんの期待をさらに高められたらと考えている。是非、想像力を最大限に働かせ、来たるべきアルバム&ツアーでの4人との再会を楽しみにしてほしい。

再集結以降、ライブ活動やそれぞれにテーマ性を持ったシングルリリースなどを行いながら、「9」のバンドでやるべき音楽をずっと模索してきた。という4人。アルバム世代としては新作「9999」をもって、正式な復活、と位置付けるが、吉井のコメントを読む限り、4月末からスタートする全国アリーナツアーでの、ファンからの「あと一匙」があつてこそ完成とも言えそう。とりわけ九州公演は17年12月28日以来、約1年半振りとなるため、ファンもメンバーも相当な熱量で求め合うはず。これは絶対に見逃せない!

現在公開中のYouTube番組「STORY of THE YELLOW MONKEY」。バンドとしては初となる米・ロサンゼルスでのレコーディングに密着。レッド・ツェッペリンやプリンスら数々の名盤を生み出したSuset Soundを舞台に、4人がどんな事を考え、どんな時間を過ごし、どんな想いで音楽を生み出したかに迫っている。加えて、映像の端々に溢れ出る4人の絆の強さも見え、彼らが彼らでなければならぬ理由を存分に感じることが出来る内容なので是非、アルバムとセットで味わってみてほしい。

これまでも「SOCKS」「8」とリリース順に絡めたネーミングを度々披露してきた「EMMA YELLOW MONKEY」。今作には、4桁の最大数字「4」人の最大限「4」人を苦を乗り越える、という意味があり、長い間バンドを支えてくれたファンへの感謝の気持ちも込められている。だが「9」自体が謎めいた性質を持つ数字ゆえ、いつも以上に深読みし放題(?)。例えば曲を聴く前と後、ライブに行く前と後など、無限のイマジネーションで自分だけのストーリーを楽しむのもアリかも。

き。が加わり生命体の雰囲気が増。不思議な感覚へと誘ってくれる。

取材／文：山崎聡美

独自性と同時代性、肉体的性を高め
福岡起点の新鋭、世界へ。

Attractions

初DRUM Be-1のワンマンライブも初音に迫る。「もっ」とお客さんと一緒に踊りたいからもっと自分たちが熱くなるよ。すごいフィジカルでエモーショナルなライブができるようになってきた「TARO」というパフォーマンスを、是非共に。



Attractions

New Album
DISTANCE
GIMMICK MAGIC
NOW ON SALE



LIVE! DISTANCE Release Tour
4.5(金)福岡DRUM Be-1

Attractions (アトラクションズ)

16年福岡にて結成。TARO (Vo)、TAKE (Gt)、JUN (Ba)、AKIRA (Dr) から成る4ピース。福岡を代表するアパレルショップのひとつ・BINGOBONGOグループが立ち上げた音楽レーベル「GIMMICK MAGIC」の第1弾アーティストとして17年8月「Knock Away」を配信リリース。更にSpotifyやApple Musicの注目株となり、10月には1st EP「Attractions」をリリース。18年はSXSWやサマソニ、Sunset Liveへ出演。福岡発のバンドではMO'SOME TONEBENDERやデビュー以来のプロデューサー・山本幹宏が在籍していたThe Cigarettes等が好きだと云うが、どこにも「真さない」存在感はないです。「The」も付いてないし(笑)。でもコストロ大好きです！(TAKE)とのこと。
<https://attractions-music.jp/>

所謂福岡ロックの系譜とは違う。だがUKロックをはじめ海外の尖鋭的なサウンドを咀嚼し時代性の高い手法をしながら取り込みながら独自の音楽を醸成させていく姿は正しく福岡バンド的である。新鋭Attractions、昨年12月には1stアルバム「DISTANCE」を発表し、今、全国的に耳目を集める存在だ。「元々のバンドは方向性も決めてなくて。その時のやり方、その時をやりようとして考えて、音楽的な視野が広い」というが、今作に関してはそういう広さを曲毎に集約したことがテカいですね。僕らはよく「UKロック」が語られますが、そこに縛られたくない。USロックもファンクもソウルも好き。だからジャンルに関しては自由でいたいな(TAKE)

然り、曲単位の振り幅は広く、アルバムとしての音像は非常に現代的である。彼らを知りその魅力を体感するにはこれほど最適な作品もないだろう。「それは自然なところですね。制作時間の制約もあったので、全体をコンセプトに構築することより1曲1曲に向き合っていくというアレンジ、音がいいか詰めていく中で結果的に今の自分たちのやり方が出た感じはあります(TAKE)

前作EPを踏まえての変化という目線で言えば「EPが自分の中(内側)に向かっている、もっと開けたような楽曲を作る」(TAKE)という意識も、それはアンサンブルにも大きく作用している。

「スタジオアロックス的なイメージとか広いところをやりたい」という意識は皆共通であったので、自ずとスケールは大きくなっていったと思います。ピートも歌詞も、歌の感じも(JUN)

「DISTANCE」ってタイトルも、聴き手に対して僕らがどれくらい距離を近づけられるかという意味もあって、曲毎に豊かな世界観があり色々な要素があることでどこかにハマってくれたらいいなと思っています(TARO)

ORIGINAL LOVE

新作『bless You!』に帰結するオリジナル・ラブ・サウンド。
30年を経て到達したソウル・ミュージックの理想。

取材／文：山崎聡美

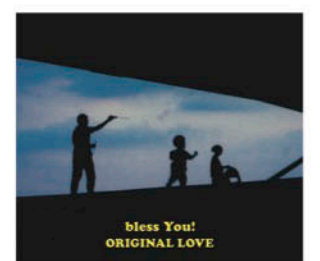


写真プレゼント、応募方法はP11をチェック!

4年ぶり、18作目のオリジナル・アルバム「bless You!」を2月にリリースしたオリジナル・ラブ、田島勇男による今回のアルバムに対してSNSとかでも九州の方からの熱い反応がすごく多い」という。そのはずだ。だって「bless You!」は、オリジナル・ラブの長い歴史を遡ってみても最高傑作と呼ぶに相応しい作品なのだから。おこがましうもそう力説すると田島は「自分で作ったものだから(評価は)わからないけど」と前置きして、手応えとしては最高にいいモン作ったという感じ(笑)と答えてくれた。

「僕はやっている音楽というのは、なかなか技術がいる音楽なんです。デビューして30年くらい経つんですけど...ようやくできるよきになったことがいっぱいあるんです。僕は元々、十代の頃はニューエイヴとかパンクが好きでソウルミュージックを好きになっただけで、でも、好きになって、じゃあやるって言うわけでも、そんなに簡単に今、30年経ってようやく、その歌い方やリズムのとり方、和音の種類やあり方、そういうものがやっとなってきたところがあった。そういつたところでの自分のテクニック、培ったグルーブを、今回のアルバムで発揮することができた、と思っっています」

なんと謙虚な、とも思う。だが、アレサ・フランクリンや68年から75年制作された一発録音によるアナログ盤の素晴らしい音を例に挙げながら今作に



New Album
bless You!
WONDERFUL WORLD RECORDS/
ビクター
NOW ON SALE

LIVE
ORIGINAL LOVE
"bless You!" Tour
6.22(土)
福岡国際会議場
メインホール
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。

New Single
ささやかな約束をしよう
～僕のルール～
cutting edge
NOW ON SALE



戸渡陽太

ホークス・和田投手の活動に共感。
疾走感あふれる応援ソング。



写真プレゼント、応募方法はP11をチェック!

前作「光へのアーキテクチャ」から約10カ月振り。全国流通盤としては初となるシングル「ささやかな約束をしよう～僕のルール」をリリースした戸渡陽太。表題曲は、福岡ソフトバンクホークスの和田投手が、05年から続けている「子どもワーク」支援活動「に対する応援ソング」を、野球1球ごとにワークを10本、勝利投手となれば20本、完投なら30本、完封で40本、開発途上国の子どものために贈るという、自分なりの寄付のルール「で活動を続ける和田投手に共感した戸渡とシンガー・ソングライター伊東歌詞太郎が、共作という形で曲を完成させた。「人か書いた曲に曲を完成させた」と自体、初めてだった」という

戸渡 陽太 (トワタリヨウタ)
'92年生まれ、福岡県出身。14年ロックンロール・オン主催のコンテスト「RO69JACK」にて入賞。同年11月に自身初の全国流通盤「アリス」をリリース。16年6月1stアルバム「I wanna be 戸渡陽太」にてメジャー・デビューした。なお新作のカップリングには、17年5月に配信シングルとしてリリースした「Happy」(名古屋テレビ開局55周年記念番組「メ〜テレドラマ」岐阜にイシュー1」主題歌)を収録。
<http://www.towatariyuta.com/>

取材／文：なかしまさおり

LIVE/PICTURE

ドレスコースズ
the dresscodes TOUR 2019

6月22日(土)
FUKUOKA BEAT STATION

「毛皮のマリーズ」解散後も音楽界にとどまらず、各方面より圧倒的な支持を受ける志磨達平。新元号に合わせ、5/1には約2年ぶり、6枚目となるアルバム『ジャズ』を発売。全12曲収録。全国9カ所を巡るアルバムリリースツアーも決定。

2
-2 ONE MAN LONG TOUR-
(4 PIECE FOR PEACE)

6月23日(日)福岡INSA

4/3にリリースとなる3枚目のアルバム『生と詩』。激しさを増した4人の演奏と、独特、且つユーモアな歌がアルバムの世界観を創っている。4月には“生と詩とスリーピース”をyonigeと Saucy Dogを迎えてそれぞれ大阪と東京で開催、5月からはワンマンツアーをスタートする。

Tempalay
TOUR「21世紀より愛をこめて」

7月5日(金)
福岡 the voodoo lounge

海外インディシーンを感ぜさせる脱力系サウンドに中毒者が続出中。今年がフェス・イベントに出ずっぱり、今、大注目のバンドTempalayが6/5にニューアルバム『21世紀より愛をこめて』を発売する。リリースにあわせて6月からは全国ツアーがスタート。

夜の本気ダンス
Ain't no she see TOUR

7月20日(土)
FUKUOKA BEAT STATION

*夜*も昼も聴く者全てを*本気*で*ダンス*させる4人組バンド。3月に開催されたバンド結成10周年イヤーの締めくくり企画ライブ1年半ぶりとなるアルバム『Fetish』のリリースを発表!みなさん、踊れる準備はできてますか?

BEA公式アカウントも要check!

Twitter @beafx
Facebook @BigEarAnts

▲帰って来ました。 F-Xその2日 懐かしのミニモニ。 懐かしのステージ。

今月の○○!! 第65回
feature of the month

毎月、お題に沿っているものもpick up! 普段知ることのない、あの人のあんな部分やこんな部分も見えてく! もしもしたら、あなたとの意外な共通点が見つかるかも…?!

編集部K	編集部M	編集部E	編集部I
ピクニックソング cero 「マウンテン・マウンテン」 ♪マウンテンマウンテン〜度草バカ。心踊るよね。	キセル 「ピクニック」 ピクニックっぽくないところがまたいい。	TAHITI 80 「PUZZLE」 青空のもとで睡きたい。絶対気持ちいい。	→Pia-no-jaC- 「JAPANESE」 ピアノ無い物が如し。
春までに買い替えたいもの 「バジャマ」 スウェットのやつじゃなくて、裾がついたゆるゆるのバジャマ的なやつ。	「アンダーウェア」 くたびれているものはいい加減捨てよう。	「トートバッグ」 角が破れてきた。お気に入りだったけど。	「本棚」 本棚をDIYしたい。漫画専用!

「サイン入り写真」 各1名様

Dコース ORIGINAL LOVE 戸渡陽太
Bコース 大橋トリオ
Fコース 戸渡陽太
Eコース Attractions
Cコース 奥華子
Aコース F-X2019 フェイスタオル 3名様

今月のプレゼント

応募方法/下記①〜⑥をご記入の上、ハガキまたはe-mailにてお送り下さい。(5月1日消印有効)

①希望商品 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥e-mail
⑦BEA CLUBの方は会員番号 ⑧最近行ったコンサート
⑨好きなアーティストやライブレポート、その他ご意見・ご感想

ハガキ 〒810-0022 福岡市中央区薬院2-10-10 BEA
e-mail / beavoice@bea-net.com
共に「ビーボイス4月号プレゼント係」まで

キタノネガ

試練のTAIMAN TOUR 2019
ゲスト KEYTALK

6.21金 Zepp Fukuoka
1Fスタンディング ¥4,300(ドリンク代別)
2F指定席 席間販売不可
※1F来就学生入場不可

TICKET NOW ON SALE Lコード 83595 / Pコード 140-147 / e+

文：なかしまさお

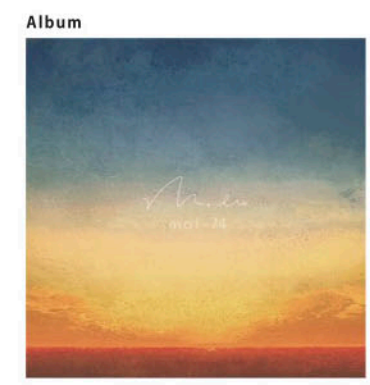
ある偏愛の、彼方から。

メインストリームからアンダーグラウンドまで、各種メディアや実際の街を道這する中で見つけた、さまざまな“偏愛”対象を紹介いたします。

Vol. 41 **バック・トゥ・ベーシック!**

なかしまさお ◆ copywriter/music relater/green consumer. 音楽を中心に「観る、聴く、書く、そして考える」を担っています。本文にある「少女ファイト」(日本橋ヨコソ)は思泉谷高校女子バレー部を中心としたストーリーで、現在15巻まで発行中。『バキ』同様、春高バレーの切実な闘争を描きながら、時にヤングイロイロな描写、時にはもろい男の愛の告白、コミック、家庭内といった面々の描き方も随分魅力的で、男女問わずに読者層に人気の作品となっている。

口には苦さは良業なり。自分にとって耳の痛い言葉であればあるほど、私情云々は抜きにして、それを発してくれた人に、少しでも感謝できるような人になりたい。だが、これが人間関係しなかなかに難しく、とくに慣れや情性が加わってくるとかなり厄介なことになる。未熟者だった自分を忘れ、いつか技術に対して、人に対して、その関係の上にあぐらをかいてしまおう。それでもまだ、面と向かって小言を言ってくれる人たちが周りにいるうちはいい。家族ならなおさら、摺り動定抜きで、そういうことを言ってくれているはずだから。でも、知らない間に人が離れ、注意することさえ諦められて、結果、いま世の中を騒がせているようなニュースの中心人物になってしまった…としたら、どうだろう? だからこそ、大切なものは感謝と敬意。常に初心を忘れないというキモチだよ。大好きな漫画「少女ファイト」に刻まれた偏愛のフレーズ「Memento mori. Vita brevis, ars longa.」(「死を思え、技術/芸術は長い=人生はいつか死ぬ。技術を習得するには、人生はあまりに短い)を忘れるなど。ここ数年はとくに、大きな災害があるたび自戒の念も込めて、自分の子どもたちには伝えてきた(つもりだ)。おそらく、この春に進学や就職(あるいは進級、異動など)で環境がガラリと変わる人



Album
mol-74
mol-74

モルカルのメジャー・デビューアルバム。優しくフルセットな声とクリン・トーンサウンドを軸に、北歐ポストロックを思わせる繊細な音作り、インディーズ時代の代表曲を網羅した楽曲セレクトでmol-74とは?を知る1枚。(本誌編集部)



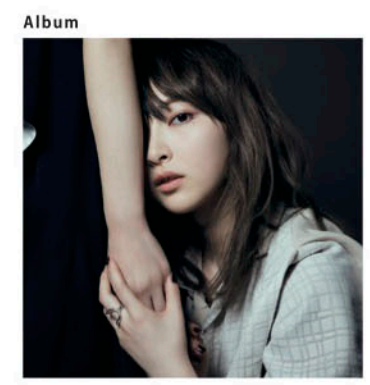
Album
Mitsume
Ghosts

前作から3年、楽曲の構築密度はますます高くも風通しのいい、良質なポップスとしての圧倒的な付まい。話題となった先行シングル「エスパー」「セダン」も収録した全11曲、多様なサウンドスケープに心は目眩くばかり。(山崎聡美)



Album
THE MODS
ROCKIN' CABARET BLUES

大人の夜に乾杯!メンバーそれぞれの課外活動を経て、遂に鳴らされた薫り高きビンテージ・ロック、弦の鳴り、軽快なビート、エンターテインメントに徹した、アコースティックならではのニクい演出がホロ良い気分を盛り上げる。(なかしまさお)



Album
家入レオ
DUO

天海祐希主演ドラマの主題歌「Prime Numbers」(松尾潔)をはじめ個性溢れる作家陣(小谷美紗子/尾崎雄貴/常田大希/永井聖一)らがこぞって曲を提供、より深化した表現力に任前される最新オリジナルAL。(なかしまさお)



Album
Suchmos
THE ANYMAL

W杯だの紅白だの熱狂を誰より冷静に眺めていたのは彼ら自身だったんだろう。2年ぶり3枚目のフルALは拘り続けてきたルーツとの邂逅、時代を映す音の創造、情動のブルース、バンドの押込と誠実さをここに見る。(山崎聡美)



Album
細野晴臣
HOCHONO HOUSE

ソロ短作「HOSONO HOUSE」(73年)を自らリメイク、アレンジも録音も新たに曲調は逆転。企画モノではない、単なるブラッシュアップでも無論ない。45年を経て為せる音の探求、そして感じる歌の深遠、恒久的名盤。(山崎聡美)



Album
RAMMELLS
Mirrors

70年代から現在までの“DANCE MUSIC”をキーワードに制作。懐かしさと新しさが同居した、まさに“ネオ・ノスタルジ”な世界。鏡で起こすプリズム現象の光のように、速く度に変化していきそうな魅惑的作品。(本誌編集部)



Single
Homecomings
Cakes

めんどろで小賢しく愚かしく、時々否応なくとおしい。恋愛も人間も、そんな生温かい繊細な揺れを捉え、なおすがすがしい。映画「愛がなんだ」の主題歌を今泉力哉監督の指名で書き下ろした新曲、初のライブDVD付。(山崎聡美)

福岡ソフトバンクホークス チケット好評販売中! 4月・5月公式戦

4月 April	5月 May
5日 18:00 vs 千葉ロッテ	1日 18:00 vs 楽天イーグルス
6日 14:00 WE=KYUSHU 対ヤフス対戦	2日 13:00 vs オリックス
7日 13:00 vs 千葉ロッテ	3日 13:00 vs オリックス
9日 18:00 vs 千葉ロッテ	4日 14:00 WE=KYUSHU 対北九州
10日 18:00 vs 北海道日本ハム	5日 13:00 vs オリックス
11日 18:00 vs オリックス	6日 13:00 vs 埼玉西武
12日 18:00 vs オリックス	7日 18:00 vs 埼玉西武
13日 18:00 vs オリックス	8日 18:00 vs 埼玉西武
14日 18:00 vs オリックス	9日 18:00 vs 埼玉西武
15日 18:00 vs オリックス	10日 18:00 vs 埼玉西武
16日 18:00 vs オリックス	11日 18:00 vs 埼玉西武
17日 18:00 vs オリックス	12日 18:00 vs 埼玉西武
18日 18:00 vs オリックス	13日 18:00 vs 埼玉西武
19日 18:00 vs オリックス	14日 18:00 vs 埼玉西武
20日 18:00 vs オリックス	15日 18:00 vs 埼玉西武
21日 18:00 vs オリックス	16日 18:00 vs 埼玉西武
22日 18:00 vs オリックス	17日 18:00 vs 埼玉西武
23日 18:00 vs オリックス	18日 18:00 vs 埼玉西武
24日 18:00 vs オリックス	19日 18:00 vs 埼玉西武
25日 18:00 vs オリックス	20日 18:00 vs 埼玉西武

※チケット完売の際はご容赦ください。※試合日程及び試合開始時間は予告無しに変更となる場合がございます。予めご了承ください。※試合中止に伴うチケットの取り扱いについては、ホークス公式サイトをご覧ください。

大人気アニメとのコラボレーション企画! 出演声優によるトークショーを今年も開催! 好評販売中!!

ゴキウのA声優トークショー付チケット

A指定席引換券1枚 (通常4,500円) + トークショー入場券1枚 1セット **4,800円** (税込)

【対象日程】 5/5(日・祝) 13:00 vs オリックス

お問い合わせ TEL.092-847-1006 営業時間 10:00~18:00